

第2学年4組 社会科授業案

授業者 豊橋市立南稜中学校 伊藤 直宏

1 単元「TPPの波が押し寄せる そのとき豊橋の農業は?~日本の諸地域:中部地方~」

2 単元目標

(1) 豊橋の農業の実態について、気候や水資源などの自然的条件と他産地との競合関係や生産に携わる人々の工夫などの社会的条件の両面から意欲的に追究することができる。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

(2) TPPが及ぼす日本や豊橋の農業への影響について追究していくなかで、自分たちの生活との関わりに気づき、今後の豊橋の農業のあり方について考え、表現できる。

【社会的な思考・判断・表現】

(3) 豊橋の農業の実態やTPPが及ぼす日本や豊橋の農業への影響について、資料を活用したり、農業従事者への聞き取りを行ったりして、わかったことをまとめることができる。

【資料活用の技能】

(4) 中部地方の産業や豊橋の農業について調べることを通して、中部地方の地域的特色について、気候などの自然的条件と、TPPや生産に携わる人々の工夫などの社会的条件が関わっていることについて理解できる。

【社会的事象についての知識・理解】

3 単元構想

(1) 生徒観

世界の諸地域「北アメリカ州」の単元では、生徒は設定したテーマについて、白地図などを使って作業的な学習を行ったり、地図帳を使ってアメリカの国土の位置や山脈や河川などの地形、特色ある産業について自分たちで調べたりした。結果、アメリカの世界貿易に占める地位や農産物の生産分布について理解することができた。アメリカについての知識は増えたものの、一方でアメリカの産業が成立している要因や、そこに携わる人々の様子についてまで考えを巡らせることのできる生徒は少なかった。これは学習の対象であるアメリカが地理的に遠いことから、生徒が自分の問題として取り上げられなかつたことが原因だと思われる。

そこで本単元では、日本の諸地域の中部地方、とりわけ自分たちの住んでいる豊橋の農業を取り上げて学習をする。身近な基幹産業を取り上げることにより、生徒が学習対象を身近なものと感じ、自分自身の問題としてとらえることができるであろう。また、生徒の追究意欲の高まり、持続も期待でき、調べ学習や聞き取り調査も進んでできるであろうと考える。そして、豊橋の農業という地域的特色について自然的条件や社会的条件の関係性から考えさせていきたい。また地域的特色的動向は、自然的条件や社会的条件の変化に伴って変わっていくことを考えさせながら、地域の一員として地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を育成していきたい。

(2) 教材観

本単元では産業を中心とした地域的特色の考察として地元の豊橋の農業を取り上げる。豊橋の農業を取り上げるねらいとして、豊橋の農業が成立している条件には地理的諸条件（自然的条件と社会的条件）が深く関わっているからである。つまり気候や地形などの自然的条件、また東京、大阪、名古屋などの大消費地にも近く、輸送も容易であるという社会的条件の両面を関連づけて生徒が追究することができるからである。

近年、食の安全性について問題視されているが、農業は私たちの食に直接的に影響・関連してくる問題であ

る。また本学級の生徒は39人中29人が祖父母、親戚が農業に携わっているということから生徒にとって農業は比較的身近な産業でもある。農業を教材として取り上げることで、生徒が学習内容に対して、自分自身の問題として取り組むことができるであろうと考えた。さらに、地域の基幹産業である農業の在り方を追究していくことで、地域の一員としてどう地域社会と関わっていけばよいのかを考えさせる一助になるであろうと考える。

本単元はTPPも取り上げる。TPPを取り上げるねらいとしては、変化していく社会的条件に応じて地域の産業も変化していくことを感じさせ、考察させたいことにある。

TPPの参加については審議中であるが、参加した場合は日本の産業に様々な影響が出てくるであろう。本単元では、特に農業の在り方を追究していく中で、社会的条件の変化も産業に大きく関わっていること、また自身の生活にも関わっていることに気づき、地域的特色を多面的・多角的に考えることができるであろう。

(3) 指導観

単元の導入では中部地方で発達している新潟県の稻作、長野県のレタス栽培、愛知県の自動車産業に興味を抱くようにするために、それぞれの生産額をクイズ形式で提示するとともに、実際に魚沼産コシヒカリ、長野産のレタスを食べる活動を取り入れる。この学習の中で、生徒は「どうしてお米がこんなに甘いの」「どうしてレタスがこんなにみずみずしいの」と疑問を抱き、その理由を探るであろう。その調べ学習を行った後、産業の発達には気候や土壌などの自然的条件と消費地との位置関係や生産に携わる人々の工夫などの社会的条件が関わっていることに気づくようるために、話し合いの場を設定し効果的に板書をしていく。産業の発達には自然的条件と社会的条件が関わっていることに気づいた生徒に対して、豊橋の産業に目を向けるようするために、豊橋の野菜生産額（全国の市町村で2位）を提示する。豊橋の農業に目を向けた生徒はその盛んな理由を他地域と同様に探るであろう。

豊橋の農業が盛んな理由を考える中で、社会的条件の変化によって、産業も変化していくことに気づくようるために、豊橋の農業の歴史（豊川用水の通水以前から現在まで）について着目させ、過去と現在の豊橋の農業の違いについて考えさせていく。そして、過去から現在への変化を知った生徒たちは、この先の豊橋の農業も変化していくのではないかという疑問を抱くであろう。

将来の豊橋の農業を考える中で、社会的条件は日々変化していることにも気づくようするために、TPPを取り上げる。TPPを調べていく中で、生徒たちは日本の農業の現状と将来の危機的状況を感じ、自分の住む豊橋の農業も危ないのではと考えるであろう。そこで、「TPPに参加したら豊橋の農業は生き残れるか」という共通課題を設定し、個人追究を行う。

生徒たちは、農業をやっている祖父母や親戚への聞き取り調査、インターネット、資料等を活用しながら根拠を集め、自己の考えを構築していく。さらに個の考えを話し合いの場で比較・検討することで、豊橋の農業の現状を多面的・多角的に考えさせるとともに、農業を行っている祖父母や地域の方への思いにまで考えを及ぶようにしていきたい。

単元の終末では、豊橋の農業の現状や課題、祖父母や地域の方の思いを感じ、また自身の地域への思いを確認した生徒たちが、自分自身を地域の一員として見つめ、地域とどう関わっていけばよいのかと自分なりに考えることで、社会に参画していく態度を育成していきたい。

4 単元構想図 (15時間完了)

何の生産額だろう①②

【※支援 ☆評価】

◎3つの数字から、それぞれの産業の発展している特色を調べる

1604億5000万円=米=(新潟-北陸) H23農林水産省

- ・夏の高温を生かして早い時期に出荷する
- ・信濃川の水を利用している

- ・他地域から土を運んできて土地改良を行ったり、米の品種改良を行ったりしてきた
- ・江戸時代から河川の改修によって水田が作られ

211億1000万円=レタス=(長野-中央高地) H23農林水産省

- ・夏の涼しさを利用して他が出荷しない時に出荷している
- ・標高が高いところで作っている

- ・東京や名古屋といった大消費地に近いし、交通の便もよくなつた
- ・保冷車などで新鮮なうちに運ぶ

4兆4310億555万円=自動車=(愛知-東海) 帝国書院 都道府県別統計

- ・昔は地下水を利用して織維業がさかんだったよ

- ・海が近くにあって、原料を輸入しやすい
- ・海が近いので自動車生産のための材料や電力を生産しやすい
- ・港が近いので生産した車を輸出や輸送をしやすい

自然的条件

社会的条件

どの場所でも自然や立地、携わっている人の努力によって産業が栄えているんだね

226億2000万円=野菜=(豊橋) Z/1719 全国の市町村の中で2位

- ・これもどこかの県の産業かな
- ・豊橋が農業が盛んななんて知らなかつた
- ・全国で2位なんて驚いた。どうしてだろう
- ・工業にしては金額が少ないぞ。農業かな
- ・市だけで、これだけの金額ってすごいね

どうして豊橋は農業が盛なんんだろう③④

◎豊橋の農業が盛んな理由を調べる

=気候=

- ・太平洋側の気候で一年を通して暖かいから

=地形=

- ・比較的平らな土地が多くあるから
- ・豊川が近くを流れているから

=立地=

- ・日本の真ん中に位置していて、東京・名古屋・大阪などの消費地が近いから

=歴史=

- ・明治からの苦労の末、昭和43年に豊橋の東側に豊川用水ができたことによって水が豊富に使えるようになって野菜が作れるようになった
- ・もともと豊橋は荒地で水が少なく、戦後すぐには馬鈴薯や落花生しか作れなかつたんだよ
- ・戦前は養蚕が盛んで野菜などはあまり作つていなかつた

自然的条件

現在

社会的条件

中部地方と同じで自然や立地条件、携わっている人の努力によって農業が盛んになったんだね

でも昔は違つたみたいだね

昔に比べ、今は豊川用水のおかげで変わつたんだね。この先も変わっていくのかな

未来

この先豊橋の農業は変わつていくのかな⑤

◎豊橋の農業の未来を考える

変わつっていく

- ・自給率も下がつてきているから
- ・外国からいろいろな農産物が入つてくるかもしれないよ
- ・TPPに参加するかもしれないってテレビで言ってたよ
- ・外国に頼らないと・・・

変わらない

- ・自然や気候はあまり変わらないから
- ・作つている人がいる限り変わらないと思うな

TPPって何なの。テレビでよく聞くけど

※中部地方の各地域で発達している産業について興味を抱くようにするために、数字をクイズ形式で提示し、実際に特産を食べる活動を取り入れる。

※産業の発達には自然的条件と社会的条件の両面が関わっていることに気づくようにするために、調べたことを自然的条件と社会的条件に分けて板書をする。

※次時への興味を抱くようにするために、豊橋市の野菜生産額(全国で2位)を提示する。

☆中部地方の地域的特色が、自然的条件と社会的条件が関わって成立しているということを理解できる。

※豊橋の産業も中部地方の産業と同じで、自然的条件と社会的条件が関わっていることに気づくようにするために、自然的条件と社会的条件に分けて板書をする。

※豊橋の農業の変化(過去から現在)に気づき、将来の豊橋の農業について着目できるようにするために、豊橋の農業の歴史についても調べるように促す。

☆豊橋の農業の実態について自然的条件と社会的条件から調べることができます。

※現在でも社会的条件が日々変化していることに気づくようにするために、TPPについて関心を持っている生徒を意図的に指名する。

T P Pって何だろう⑥⑦

◎ T P Pや関税について調べる

= T P P =

- ・環太平洋パートナーシップ協定の略だよ
- ・太平洋に面した国同士で結ぶ約束
- ・現在はアメリカなど9カ国が加わっている
- ・関税を無くし自由に貿易することだよ
- ・現在日本はT P Pに加盟するかどうかの話し合いを行っているんだよ

= 関税 =

- ・関税は国と国で貿易をするときにかかる税金
- ・輸入品にかける税金だよ
- ・関税の数字(割合)は自分の国で決定できる
- ・品物(品目)によっては高い関税が掛けられているものもあるよ
- ・米は778%という高い関税が掛けられている
- ・関税によって守られている産業もある
- ・農産物は関税によって守られている

関税を無くして貿易をしやすくするんだね。今は農業は関税で守られている部分があるけど、T P Pに参加したらどうなるの。本当に農業は厳しくなるのかな

※ T P Pの内容については、複雑であるため、関税を中心調べるようにする。

※ T P Pについて理解を深めるために、WEB、新聞記事等で調べる活動を取り入れるとともに、自作資料を提示する。

☆ T P Pや関税の調べを通して、関税と農業の関係について考えることができる。

日本がT P Pに参加したらどうなるのかな⑧⑨⑩

◎ T P Pに参加したらどうなるかを調べ考える

<農家>

- 海外に負けないようにと競争力がつく
- 高品質の日本の農産物を売り出すチャンス
- 例外が認められる可能性が高いし、10年の猶予期間があるので、すぐに関税がゼロにはならないから大丈夫
- ×関税が無くなつて安い輸入農産物が入ってきて、農家は生き残れないかも
- ×特に米農家の被害が大きく生き残れない
- ×一部を除いては生き残れないかも
- ×農家にとってマイナス

農業

<消費者>

- 安い農産物が入ってきて家計は助かる
- △安全な農産物なのかな
- △おいしいものが安く手に入ればいいけど

<行政>

- 海外に日本の特産を売り出すチャンス
- = 地域の活性化
- ×輸入先の国が輸出をしてくれなかつた時も考えなくてはいけない
- ×安定的な農産物を提供しないといけない
- ×食糧自給率や「食の安全」のこととも考えないといけない

安全性の問題はあるけど、一部の農業以外は生き残れないかも知れないね

<工業系企業>

- 日本は加工貿易の国だから、原材料を安く仕入れる
- 輸出が増加し、利益があがる
- 日本の製品が海外でたくさん売れて国が豊かになる
- ×外国の安い家電製品などが入ってくるかもしれない

非農業

<消費者>

- 海外の製品を安く買うことができる
- ×海外の製品が壊れたとき保障はしてくれるのか心配

<行政>

- 日本の利益をあげたい
- 日本を豊かにしたい
- 10年間で3兆円のG D P(国内の収入)があがる
- ×日本独自の安全基準がなくなる

農業以外は結構いいことがありそうだな

※ T P Pに参加した場合について、農業にとってプラス面よりもマイナス面が多いことに気づくようするため、関税を中心に農業への影響と非農業への影響に分け、比較して考えるようにする。

※多面的・多角的なものの見方や考え方ができるようにするため、農家(企業)・消費者・行政のそれぞれの立場からT P P参加を考えるようにする。

☆ T P Pが及ぼす日本の産業への影響について、資料を活用して農業と非農業の視点からまとめることができる。

農業以外では結構いいかもしれないけど、日本の農業は厳しくなる可能性があるね
豊橋の農業もそうなるのかな?生き残れるのかな?

TPPに参加したら豊橋の農業は生き残れるか？⑪⑫⑬（本時⑬）

◎豊橋の農業を具体的に調べて立場を明確にする
＜生き残れる＞

- ・豊橋はキャベツ・トマトなどの野菜を作っている農家が約半数いる
- ・野菜はもともと関税が低く、関税がなくなつてもあまり変わらない
- ・野菜は鮮度が命なので外国産は入つてこれない。豊橋は大消費地に近い
- ・後継者が少なくなっているにもかかわらず、豊橋農協の売り上げ高は17年前から変わっていない
- ・安全な作物を農家の方々が作ってくれている
- ・農協でも安全性を確保している
- ・産地が目に見えた方が買ってくれる
- ・全国や愛知県に比べ総農家数の減少率は抑えられている
- ・65歳未満の農業従事者の割合も全国・愛知県に比べて高い

売り上げ
生産作物

安全性
生産者の
努力

後継者問題

＜厳しい＞

- ・畜産業は大きなダメージ
- ・TPPに参加したら、豊橋のトマトも危ない
- ・米農家は外国産米が入ってきて大変なことになる

- ・野菜の自給率はどんどん下がっている
- ・国もBSE問題の時のように、安全には十分注意していくはず。外国産が入ってくる
- ・「食の安全性」について外国から一方的に変更を求められることはない
- ・外国米を食べたけど、味は変わらない

- ・後継者がいないという割合が6割を超えている
- ・総農家数も減っている
- ・耕作放棄地も増えている

- ・TPPで生き残れるかというよりも後継者不足が進行しているのが問題
- ・おじいちゃんの代で農業が終わるかもしれないと思うとさみしいな

- ・一番の問題は高齢化や後継者の問題。これを何とかしない限り厳しい。
- ・祖父母や親戚が農業をやっているし、自分の地域だから、生き残ってほしいな。どうすればいいんだろう

GTに話し合いを聞いてもらい、本時の課題について話をしてもらう

- ・豊橋は野菜の生産が多いので、すぐに潰れるという可能性は低いけどこの先はわからない
- ・安ければ、自分だけよければ、だけで判断せずもっと大きな視野で農業や物事、自分の住む地域について考えてほしい
- ・地域のそれぞれが努力をしてみんなの生活があることを忘れないでほしい

これから豊橋の農業について考えたいな

◎これからの豊橋の農業について考える

＜農家＞

- ・新潟のように、まとまった土地で野菜を作れば手間が省けて効率をよくする
- ・単価の高い作物をつくるようにする
- ・おじいちゃんは野菜は品質が大事と言っていたから、品質にこだわっていいものを作れば売れるよ
- ・新鮮さを「売り」にして、差別化を図っていくといい
- ・生き残っていくためには跡継ぎの問題を考え、解決していかないといけない

＜行政＞

- ・農家に対して保障をしたほうがいい（お金や生産した農産物を買い取るなど）
- ・耕作放棄地を無くすため新規の農家を保護していく（お金をあげるなど）
- ・TPPの例外措置をやってもらう

＜農協＞

- ・日本の真ん中で地理的に有利なので今まで流通を強くして、豊橋ブランドをPRしていく
- ・耕作放棄地をなくす努力をし、農家の方の技術力向上を目指す

＜消費者＞

- ・豊橋産や国産のものをできる限り買うようになりたいな
- ・地産地消を心がけようと思う
- ・食べ物を粗末にしない
- ・食は自分たちの生活につながっているから、もう一度農業の大切さ考えてみたい
- ・（農家の）おじいちゃんは苦労して野菜を作っているので大変さを考える

それぞれの立場で発展していくと努力し、協力していくことが大切なんだね。
どうすればよいか、これからも考えていきたいな

※自身の意見の根拠を明確にして話し合いで臨むことができるようするために、農家や家庭への聞き取り調査、見学、自作資料、WEB等の活用方法について個別に助言する。

※生徒同士が関わりをもって話し合いができるようするため、意図的な指名をしたり、ネームプレートを使用したりする。

※生徒がもっている、地域や農家の方への思いを浮き彫りにするため、祖父母の代で農業が終わるかもしれない教師が切り返す。

☆TPPが及ぼす豊橋の農業への影響について、資料を使って調べたり、調査活動を行ったりしてまとめることができる。

☆TPPが及ぼす豊橋の農業への影響を様々な視点からとらえ、これから豊橋の農業のあり方について考えることができる。

※様々な立場から地域の発展について考えることで、生徒自身が地域の一人であることに気づき、地域とどう関わっていけばよいのかということを考えることができます。

☆これから豊橋の農業のあり方について、様々な立場から考え、自分なりの考えをもつこができる。

5 本時の学習

(1) 目標

今後の豊橋の農業が「生き残れる」のか「厳しい」状況なのかについて、生産作物・売り上げ、安全性・生産者の努力、後継者問題の視点から話し合うことを通して、これから豊橋の農業のあり方について考えることができる。

【社会的な思考・判断・表現】

(2) 評価

「思考・判断・表現」生徒の発言の内容、ノートへの振り返りの記述により判断する。

A基準

様々な視点や立場の意見を踏まえて、地域の一員として、これから豊橋の農業のあり方について考えることができる。

B基準

話し合いをもとにして、これからの豊橋の農業のあり方について考えることができる。

(3) 授業にあたって

本時では「TPPに参加したら豊橋の農業は生き残れるか」ということについて話し合いを行う。生産作物・売り上げ、安全性・生産者の努力、後継者問題という視点から、それまでに調べたことに基づいて、「生き残れる」「厳しい」という立場から自分の考えを述べる。

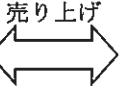
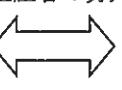
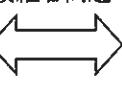
はじめにTPP参加によって豊橋の農業は不利な状況になるかもしれないが、その中でも生産者や農業関係者の努力がある、豊橋の特産の農産物がTPPには強いという理由で「生き残れる」と考えている生徒の意見を取り上げる。農協の直売所や食彩村で売られている農産物には産地と生産者の名前が記されていて安心、豊橋の特産のキャベツやミニトマトなどの生鮮野菜はもともと関税が低く、TPPに参加しても外国産は入ってきにくいなどの発言をするであろう。また、豊橋市の農業従事者の割合や農家数の減少率は全国や県内でも抑えられているなどの後継者問題にも言及するであろう。

これに対して、TPP参加によって豊橋の農業にとって深刻な状況に陥る可能性があるという理由で「厳しい」と考えている生徒の意見を取り上げる。価格の安い輸入農産物が入ってきて売り上げが減少する、米農家や畜産業はダメージを受ける、食の安全性に関してもある一定の確保はできる、味の面からも外国産米は国産米と遜色ないなどの発言をするであろう。また、豊橋の総農家数の減少や耕作放棄地の増加などの後継者問題にも言及するであろう。

展開時では、話し合いをして課題が焦点化されていく中で、生徒がもっている地域や農家の方、農業をやっている祖父母への思いを浮き彫りにするため、「おじいちゃんの代で農業が終わるかもしれないとなつたらどう思う」と教師が切り返し、地域の農業従事者や地域の産業に対する生徒の思いに焦点をあてていく。

終末では、ゲストティーチャーの小島氏から、本時の話し合いの感想、豊橋の農業の現状、農家の方の思いや努力についての話を聞いていただく。本時の学習を通して、生徒一人一人が地域の一員としてこれから豊橋の農業のあり方について考えていく姿を期待する。

(4) 展開

時間	◎学習活動	課題	※教師支援	☆評価
		TPPに参加したら豊橋の農業は生き残れるか		
	◎TPPに参加した場合、今後の豊橋の農業について「生き残れる」のか「厳しい」状況なのかについて話し合う。			
25	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><生き残れる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋はキャベツ・トマトなどの野菜を作っている農家が約半数いる ・野菜はもともと関税が低く、TPPに加盟して関税がなくなってしまい変わらない ・野菜は鮮度が命なので外国産は入ってこれない。豊橋は大消費地に近い ・後継者が少なくなっているにもかかわらず、豊橋農協の売り上げ高は17年前から変わっていない ・安全な作物を農家の方々が作ってくれている ・農協でも安全性を確保している ・食彩村や農協では、産地と作った人の名前が書かれているので安心して買える ・産地が目に見えた方が買ってくれる ・全国や愛知県に比べ総農家数の減少率は抑えられている ・65歳未満の農業従事者の割合も全国・愛知県に比べて高い ・隣の田原市では農業を行わない土地を、農業をやりたい人に貸し出している。豊橋もそうすればいい。 </div> <div style="width: 45%;"> <p><厳しい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TPP参加によって、畜産業や米農家は特にダメージを受ける ・外食産業ではキャベツもたくさん輸入するようになる ・売り上げ高が100億円減少する ・米農家は外国産米が入ってきて大変になる ・外国産の野菜が安く入ってくる </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>生産作物 売り上げ</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>安全性 生産者の努力</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>後継者問題</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・国もBSE問題の時のように、安全には十分注意していくはず。外国産が入ってくる ・「食の安全性」について外国から一方的に変更を求められることはない ・アメリカ産コシヒカリを食べたけど、味は変わらなかったよ ・米の安全性については保証書もあり、安全については大丈夫 ・後継者がいないという割合が6割を超えてる ・農業従事者の45%が65歳以上 ・今ですら高齢化で苦しいのに、TPPに参加したらさらに苦しくなる ・総農家数も減っている ・耕作放棄地も増えている </div> </div>	<p>※生徒同士の関わりが深まるように、ネームプレートを使ったり、意図的な指名をしたりする。</p> <p>※様々な視点から課題について考えるようにするために、自分の意見と異なり異なる視点で話したりしている生徒の意見をどう思うかと問いかける。</p>		
35	<p>豊橋の農業の現状や課題が見えてきたね。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p><価格> <高齢化・後継者> <安全性></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・TPPで生き残れるかというよりも後継者不足が進行しているのが問題 ・おじいちゃんの代で農業が終わるかもしれないと思うとさみしいな 	<p>※生徒がもっている、地域や農家の方への思いを浮き彫りにするため、祖父母の代で農業が終わるかもしれない教師が切り返す。</p>		
45	<p>◎農業関係者の話を聞く。</p> <p>ゲストティーチャーの話を聞こう(農協本店:営農部 小島氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋は野菜の生産が多いので、すぐに潰れるという可能性は低いけどこの先はわからない ・後継者の問題は豊橋だけの問題じゃない。国や農家、農協、消費者が協力をしていくといけない ・安ければ、自分だけよければ、だけで判断せずもっと大きな視野で農業や物事、自分の住む地域について考えてほしい 			
	<p>◎本時の授業の感想を書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋で農業をやっている祖父母の思いを大切にしたい。 </div> <div style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋は野菜が特産なのでまだ大丈夫だと聞いて安心した。でもこの先はわからないし、後継者不足もあるので、どうすればいいか考えたい。 </div> <div style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・安さだけを考えず豊橋の農業全体のことを考えていきたい。少しぐらい高くても豊橋産を買おうかな。 </div> </div>	<p>☆話し合いをもとに、これから豊橋の農業のあり方について考えることができる。(発言・振り返り)</p>		
	これから豊橋の農業についてもっと考えたい			
		次時へ		